

# あこがれのなつ

## 4月

発行責任者  
校長 原田 尚之

【校長室より】

## 『人の器（うつわ）』



4月10日に行われた入学式でお話いたしました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。  
人の器（うつわ）についてです。

人の器とは、人の能力・才能・人格の大きさなどを意味します。  
では、能力・才能・人格は持って生まれたものでしょうか。  
たしかに、運動能力が高い人、歌が得意な人等、生まれながらにして人は個性を持っています。人間の能力はある程度は生まれ持ってきているものかもしれません。しかし、それだけでその人の器の大きさが決まるものではないでしょう。

ここからは、君たちの想像力を働かせて下さい。

自分の器はどれくらいの大きさですか。

イメージが付きにくいので、少し狭めて。部活動・勉強・趣味の器ということにしてみましょう。

両手でその器を作ってみて下さい。そこに努力という水を入れます。

今までの努力を考えて入れると、自分の器に対してどれくらい入りましたか？

◎少し頑張っ努力の水を満タンにしてみよう。【これがきつい】

- ・もう少し頑張っ、少し溢れるぐらいい努力してみよう。【もっときつい】
- ・すると溢れるのはもったいないので器の縁が伸びてきます。
- ・また少し頑張っ溢れさせよう。また縁が伸びてきます。・・・・
- ・それを繰り返していくと器がどんどん大きくなります。



◎努力の水を器の半分入れてみよう。【人にとっては楽な生き方】

- ・器は粘土みたいな物でできていると想像して下さい。
- ・すると上半分の縁はカラカラに乾いて、崩れていきます。
- ・少し小さくなった器には水が満タンですが、きついので、また水を半分にします。
- ・また、乾いた縁が壊れていきます。・・・・
- ・それを繰り返していくと器がどんどん小さくなります。



どんなに大きな才能や能力を持っていても、努力しなければ、せっかく持っていた才能や能力は、小さくなってしまいます。

反対に、最初は小さな才能や能力かもしれないが、コツコツ努力すれば、少しずつかもしれないけれど器が大きくなるという話です。

五島高校では学習・部活動・学校行事等により、努力という水を満タンにする様々な仕掛けが準備されています。でも、実際に溢れんばかりの水を入れるのは、君たち自身です。君たち自身のこれからの心構えや、姿勢にかかっています。しかし、自分だけで水を入れ続けることは大変でしょう。不安でいっぱいでしょう。でも大丈夫です。君たちの周りには、友・先輩・先生方・保護者の方々がいます。石田城の石垣のように皆で支え合いながら頑張ることができます。



以上のお話しをさせていただきました。教職員一同、新たな気持ちで五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 新たなチーム五高 ～新任式・入学式～ 10日(月)

ご入学おめでとうございます



4月10日(月)に新任式・始業式が行われ、平成29年度が始まりました。新任式では、新転任者15名を代表して、荒木雅義先生より挨拶がありました。「五島高校の生徒とともに一生懸命に頑張ります。」という力強い言葉から、新転任の先生方の熱い思いが伝わってきました。15名の先生方、ようこそ五島高校へ。また、午後から行われた入学式では、普通科141名、衛生看護科28名が入学を許可されました。169名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。五島高校は皆さんを心より歓迎します。新たなチーム五高の誕生です。職員・生徒一丸となり、素晴らしい高校生活を送れるよう、ともに頑張りましょう。



## 新生活に向けて ～入寮式～ 10日(月)

4月10日(月)、本校メモリアルホールにおいて、入寮式が行われました。今年度は男子7名、女子6名、計13名が入寮しました。式では校長先生から激励のお言葉をいただいた後、入寮生を代表して1年6組の吉田幸喜君が誓いのことばを宣誓してくれました。

不慣れな環境の中での生活は心細いこともありますが、この経験は、これからの人生で必ず役に立つはずです。皆さんの五島高校での充実した生活を、職員一同期待しています。



### 頑張った、卒業生!

普通科69回生・衛生看護科42回生 結果総括

進路指導部

- |                  |       |              |
|------------------|-------|--------------|
| ① 国公立大学合格者数      | 79名   | (昨年度76名)     |
| ② 国公立大学合格率       | 57.2% | (昨年度55.5%)   |
| ③ 難関大合格者数        | 3名    | (九州大学3名)     |
| ④ 公務員合格者数(自衛隊除く) | 2名    | (五島市役所・長崎税関) |
| ⑤ 准看護師資格試験合格者数   | 30名   | (衛生看護科)      |

※合格者数は現役生のための延べ人数



学校全体で見ると、非常によく頑張った結果となりました。特に国公立大学合格率に関しては素晴らしい結果となりました。それ以外でも、それぞれが個々の進路目標に向かって粘り強く取り組む姿も多く見られました。早く進路が決定した生徒も、まだ決まっていないクラスメイトのために、率先して学習に取り組んでいたように思います。他者を思いやるやさしい生徒が多く、我々が助けてもらう場面も多かった学年でした。卒業生のこれからの活躍に期待したいと思います。

## PTA総会のご案内 5月20日(土)

PTA総会・学級懇談会を5月20日(土)に開催します。普段見ることのできない生徒たちの授業中の様子や真剣に学習に取り組む姿をぜひ御覧になってください。多数の保護者の皆様の御参加をお待ちしています。

## 各学年より

### 「ひとに優しく 自分に厳しく」

第1学年主任 渡辺 洋平

新入生のみなさん、入学おめでとう。いよいよ五島高校での生活が始まりました。

4月8日の入学式から、対面式、課題テスト、スタディサポート、部活動編成、そして諫早少年自然の家での宿泊研修など、慌ただしい日々が続いています。授業のスピードや課題の量、部活動の厳しさなど、中学とのギャップに戸惑っている人も多いようです。体調には十分注意し、早くこの生活に慣れてください。

さて、高校生活をスタートしたばかりのみなさんに、送りたいのが表題のことばです。

まず第一に、高校は君たちが社会に出てから通用する人間性・社会性を身に付ける場所です。中学を卒業するときと違い、高校を卒業するときはほとんどの人が離れ離れになります。島を出て、社会の一員として仕事を始める人もいます。新しい環境で、うまく人間関係を築くためには、身なりや挨拶だけでなく、自分の言動や立ち振る舞いが、周囲に与える影響を理解していきなくてはなりません。まずは甘えを捨て、自分のことだけでなく、友人を気遣える人間を目指してください。

そして、第二に、高校3年間は修行の場でもあります。この3年間の過ごし方で、その後の人生は大きく変化します。目の前のきつい事から逃げずに、正面からぶつかってください。もがき続ける中で、心と自分が成長していることに気づくと、毎日の授業が楽しみでしょうがない、明日の部活動のことを考えると、ワクワクして夜も眠れないという心境に変わるはず。みなさんが、そういう3年間を過ごしてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆さまへ。お子様の指導におきましては、学年スタッフ全員で、一人ひとりとの対話を重視し、3年後を見通した、きめ細かい指導を行ってまいります。また、皆さまとの連絡を密に行い、指導が適切に行われるよう努めてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。



### 「ペダルをこいで、本物を目指す」

第2学年主任 原口 正志

第2学年の生徒の君たちへ。今年の学年目標を「ペダルをこいで、本物を目指す」と決めました。徹底した反復で基礎基本が定着しつつある今、君たちに必要なのは「主体的な姿勢」です。手取り足取りの受け身の姿勢から少しずつ抜け出ていくことです。そこには、ちょうど自転車に初めて乗ったときのような刺激的な瞬間があるはず。すべて手放しというわけではありませんが、生活、学習、学校行事など様々な活動の中でその機会が増えます。手抜きによる偽物の力ではなく、自分で苦労して獲得する本物の力を身につけましょう。

第2学年での具体的な取り組み。パラマウントやLHRの時間を使って将来の五島、将来の自分についての探究を行っていきます。小論文やプレゼンなどの活動に積極的に取り組んでください。また1組～5組では、「受験学習ヘッドスタート」を各教科で実施します。6組は、専門3競技に真剣に取り組んできました。優秀な成績を収めることが君たちの将来を決めます。あらゆる面で己を律し、競技パフォーマンスを高めてください。7組。看護実習が始まります。厳しい現場で研修し、責任をもって自分で考えられる人間になってください。

保護者の皆様へ。第2学年では東京・長野修学旅行を12月に5日間予定しています。ご協力よろしくお願いいたします。お子様の指導におきましては、個人面談を充実させ、個々に応じたきめ細かい指導を充実させます。保護者の皆様との連絡を密接に行い、指導が適切に行われるよう努めてまいりますのでご協力よろしくお願いいたします。



### 「この道の果て」

第3学年主任 吉田 真也

この4月に、高校生活最終年の旅がスタートしました。3学年の職員団のパーティ（一団）には、戦士・僧侶・武闘家・魔法使い・賢者・羊飼（私はきっとこれです）など、さまざまなタイプの先生達がいる、それぞれの先生がそれぞれの長所や特技を生かしながら、主人公のあなた（3年生）をゴールへと導いてくれます。ただ、この未知なる旅のエンディングには、いろいろなパターンが用意されており、最高の結末を迎えることができるかどうかは、あなた次第です。ラクしてこの冒険をクリアしようと思わないほうが良いと思います。ラクして進路を決めて、そこに何の感動があるのでしょうか。この旅の途中であなたを待ち構えている経験可能なイベントは、何でも経験してみたいと思いませんか。ゴールへの最短ルートばかりを通るのではなく、遠回りしてでも手にしたい宝物があるのではないですか。私は、この1年を、あなた達3年生とともに「最高の笑顔と感動の涙」で締めくりたい。3学年の先生達全員が同じ気持ちです。ということで、今年度の3学年のスローガンは「3月1日に虹をかける」です。必ず、かけてみせます。